こどもたちにはサードプレイスを
おとなたちには、こどもたちと出会える場を。

# Annual Report

## 第 1 期

## 設立 - 2017

## 特定非営利活動法人サードプレイス

特定非営利活動法人
サードプレイス

## ◆もくじ


◆代表挨拶・・・・・・・・・1
◆設立・・・・・・・・・・・1
◆事業計画・・・・・・・・・1
◆シンポジウム・・・・・・・2
◆子どもの居場所づくり・・3
◆講演・メディア掲載・・・3
◆コラム・・・・・・・・・・4
◆協働・・・・・・・・・・・5
◆研修・勉強会・・・・・・5
◆Web/facebook・・・・・・6
◆会員募集・・・・・・・・6
◆寄付報告・・・・・・・・6
◆法人概要・・・・・・・・6


## ◆設立

「こどもたちにはサードプレイスを
おとなたちには。こどもたちと
出会える場を。」
を合言葉に、
鶴見区内で子どもたちの支援や子ども向けのイベント・職業体験などを実施しているメンバーが集まり、平成29年2月28日に設立しました。

3rd PLACE
こどもたちにはサードプレイスを
おとなたちには、こどもたちと出会える場を。

## ◆代表挨拶

1年前から「鶴見区内に子どもたちの居場所づくりを推進するNPOを立ち上げたい」と考え、毎日いろいろな人たちとお会いしました。お会いした人がまた新たに人をご紹介くださり、たくさんのご縁をいただくことができました。そうした中、昨年の12月に「子どもたちのために自分も何かをしたい」という志を持ったメンバーが集まり、「特定非営利活動法人サードプレイス」の設立総会を実施することができ、2月末には法人登記をすることができました。

1つカタチを作ることができた。と少し満足してしまいそうになりましたが、まだスタート地点に立ったばかりでこれからが本番です。

「子どもたちにはサードプレイスを作り、大人たちには子どもたちと出会える場を用意する。子どもたちと大人たちのつながりができていくことで、鶴見区はひとりぼっちの子がいない町になる」ということを目指しています。

第1期は、設立から6月末の4か月間だけでしたが、振り返ってみるといくつもの取り組みを仕掛けることができたと思っています。この取り組みをしっかりと継続させ、たくさんの人たちに知っていただき、関わってもらえるように、第2期は頑張っていきたいと思います。

特定非営利活動法人サードプレイス
代表理事　須田洋平

## ◆事業計画

①子どもの発達における総合支援事業
ア 子どもの居場所づくり事業
こども食堂・学習支援の実施及び活動を行う団体の取り組みを支援
イ 講演・啓発事業
子どもの居場所、貧困対策、虐待防止、多文化共生等に関する啓発
ウ 子どもの体感・体験・学習イベント
子どもの職業、自然、文化体験イベントの実施
エ 指定管理・委託事業の受託
横浜市鶴見区内の放課後キッズクラブなどの運営受託の準備

②地域資源の調査・研究・開発事業
ア 鶴見区の子ども資源調査事業
横浜市鶴見区内の子ども支援を行っている団体、活動などを調査する
イ まちかど保健室立ち上げプロジェクト
子どもたちや地域の大人たちが、生活の相談ができる相談室（保健室）のような居場所を設置するための検討・準備

## ◆シンポジウム

つるみ・元気アップ事業補助金を活用

**こどもたちの居場所シンポジウム**

日　　時：平成29年4月21日（金）18：30～20：45
場　　所：横浜市鶴見中央コミュニティハウス　レクホール
参加者数：66名
内　　容：
　基調講演「こどもたちの居場所」
　　特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば　理事長 村井琢哉氏
　クロストーク
　　・不登校のこどもの居場所
　　特定非営利活動法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ
　　・外国につながるの子の居場所
　　特定非営利活動法人ABCジャパン
　　・食でつなぐ子どもたちの居場所づくり
　　株式会社リカバリータイムズ　こどもひーちゃん食堂

**＜＜今回このシンポジウムを通して感じたこと＞＞**

　子どもたちのサポートをしている活動や取り組みは鶴見区内にけっこうある。しかし、活動に取り組んでいる団体や実践者たちの横のつながりだったり、気軽に情報交換ができる場があまりない。それぞれの強みをシェアし合うと解決できる課題が結構あったりするのではないか。同じような課題を抱えている団体って結構ある。

**私たちサードプレイスの役割として、**
『子どもたちに関わる取り組みをしている実践者の「情報交換」「課題共有」「ネットワーク形成」「専門家からの学び」「新しい活動づくり」』もできるのではと感じました。

クロストークの中でもありましたが
どの活動でも「活動資金が不足している」という共通の課題があります。
「活動資金調達（ファンドレイジング）」を鶴見区内において地産地消のような形での新しい仕組みが作れないか早急に提案してみたいと思います。

今回は、本当に多くの方にご参加いただきました。
この場を借りて改めてお礼申し上げます。

もっと深く話が聞きたいという要望もいただいております。
こういった学びの場を定期的に作っていきます。

## ◆子どもの居場所づくり

○地区センカフェプロジェクト
　独立行政法人福祉医療機構助成（地域連携活動支援事業）に採択され、
　公共施設を活用した子どもたちの居場所づくりの取り組みを開始。

○子どもの居場所づくりの相談・伴走支援
　横浜市鶴見区内・横浜市外の事業所・自治会・大学・社会福祉協議会などからの
　相談を受け、各エリアで地域や子どもたちのニーズに合わせた子どもたちの居場所
　づくりの検討をスタート。

・相談件数　6件
　イベント実施　　1件
　検討会実施　　3件
　相談まで　　2件

## ◆講演・メディア掲載

○講演
・ヨコハマ社会教育・福祉読書会　子どもの貧困対策～支援の現場から
・NPO法人フォーラム・アソシエ主催　オルタ家族食堂　1周年記念フォーラム

○メディア掲載
・神奈川新聞　4月11日　朝刊　子に第三の居場所を　シンポで問題提起

オルタ家族食堂　1周年記念フォーラム▲

神奈川新聞　4月11日　朝刊 ▶

第3種郵便物認可　神奈川

# 子に第三の居場所を

## 鶴見にNPO法人設立

家庭や学校に居場所のない子どもを支援するNPO法人「サードプレイス」（横浜市鶴見区、須田洋平代表）がことし2月に設立され、記念のシンポジウムが21日に鶴見中央コミュニティハウス（同区鶴見中央1-1-1）で開かれる。須田さん（35）は「子どもたちの居場所について問題提起になれば」と来場を呼び掛けている。時間は午後6時半から同8時半まで。事前申し込み制。参加費無料。（宮崎　千晶）

社会福祉士やソーシャルワーカーとして活動してきた須田さんが法人設立を思い立ったのは、小学校高学年の男児との出会いもきっかけになった。

両親が離婚し、母親と暮らしていたが、仕事に追われる母親はうつ病を患い、食事をつくることもままならない状態だった。男児は学校でも家庭環境が影響してか、「協調性がない」などとみなされ、なじめずにいたという。

須田さんは「学校でも家庭でも怒られ続けると自分を大切にできなくなり、徘徊や家出につながる」と指摘。子どもにとって、家庭や学校以外の「第三の居場所」をつくる必要性を感じた。

## 21日、シンポで問題提起

英語で「第三の場所」を意味する名の法人の本格的な活動は、今回のシンポジウムが最初になる。京都市のNPO法人「山科醍醐こどものひろば」の村井琢哉理事長を講師とした基調講演を行うほか、不登校児を支援するNPO法人、ボランティアらが食事を振る舞う「こども食堂」を開いている団体らが参加し、地域の子どもを支えていくか意見を交わす。

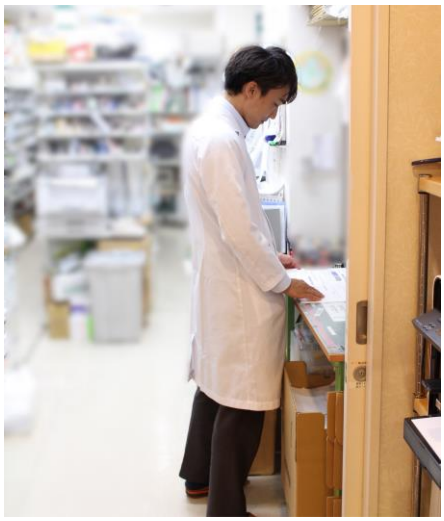
同法人では市の補助金などを元に、放課後に子どもたちが気軽に足を運べ、大人と交流できる場所を同区内に開設したい考え。須田さんは「職業体験などのイベントも開催し、将来について考える選択肢を広げたい」と話している。

シンポジウムの定員は50人で先着順。申し込み・問い合わせは、同法人のメール（thirdplace.tsurumi@gmail.com）。

「子どもたちの居場所について考えるきっかけに」とシンポジウムへの来場を呼び掛ける須田洋平代表（左）と福徳未来副代表

## ◆コラム～**サードプレイスに参加して**

調剤薬局薬剤師として本業を持ちながら、NPO法人サードプレイスの設立会員になった溝呂木俊介さん。サードプレイスの取り組み以外にも鶴見区内の様々な活動に関わっています。NPO活動に参加しようと思ったキッカケなどを伺いました。（聞き手：須田）



**◆会いに行っちゃう薬剤師**

大学時代は、ほとんどボランティア活動はしたことがありません。就職活動を進めていく中で、将来の自分を思い描いたとき「身近な人を助けたい」「地域に根付いて仕事がしたい」という気持ちが強くなっていきました。

調剤薬局の薬剤師として働きはじめ、「薬局の利用価値を高めたい」「もっと活用してもらいたい」という思いを持ちながらも、お客様とは、1人2～3分くらいしか話すことができない。次のお客様も待っているので、1人の方とじっくり話すことができないんです。なので、自分から外に出ようと思いました。健康に関する講座を、地域のNPOや団体と連携して実施するようになりました。

出張講座などを続けているうちに、大きなイベントに声がかかるようになり、そこで子育て中のママたちの団体に出会い、「活動が素晴らしい！もっとたくさんの人にこの団体を知ってほしい」と思い、いろいろな活動をサポートするようになっていきました。これが、地域活動に関わっていくキッカケかなと思います。

**◆特別な思い入れがあった訳ではない**

たまたま、「子ども」「子育て支援」の活動につながっていっただけなので、特別に子どもや子育て支援に思い入れがあるわけではありませんでした。夏休みの子ども薬剤師体験などは、前任の店長の時代からやっているし、どの薬局でもやっているいわゆるキラーコンテンツです。

それでもサードプレイスの活動に参加しようと思ったのは、薬剤師として子どもやや家族に薬学的なアドバイスで役に立てることができるかもしれないというのと、サードプレイス＝居場所づくりという取り組みにとても興味があったからです。あとは、立ち上げメンバーというのが好きだから。

まだ、サードプレイスとして団体が動き始めたばかりなので、具体的に何かをしているわけではないですが、薬局薬剤師として本業をやりながら、今の状態でやれることがきっとあるはずだと思っています。

**◆サードプレイスが自分のサードプレイスになっている**

職場と家の往復じゃなく、地域の活動に参加することで生活に変化が生まれて、いい刺激を受けています。将来につながるものを得られていると実感もしていますし、個人として自分が出せる場にもなっています。

本業の仕事をしながら、勤務外の時間で活動していることが多いので、時間の使い方を工夫しなければいけないことや、本業とのバランスを取ることが大変な部分でもありますが、自分の描く生き方や在りたい自分に近づけているのかなと思っています。

**◆やってみる**

1歩踏み出さないと見えない世界があります。本業があるので、参加してみてイメージと違ったら引き返せばいいだけです。いろいろやってみることで、自分に合うものが見つかるはずです。NPOや地域活動に参加することはメリットばかりなので、ぜひチャレンジしてみてください！

溝呂木俊介
薬樹株式会社 健ナビ薬樹薬局 鶴見 店長
1985年生まれ　32才
生きがいシナジスト

## ◆協働

〇Blue Town横浜の協働実施
　日　　時：平成29年4月2日（日）10：00～15：30
　場　　所：ココファン横浜鶴見　交流スペース
　参加者数：477名
　内　　容：毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」

　自閉症を知ってもらうために、様々な取り組みが世界中で行われ、横浜のイメージカラーの青と重ね合わせて、ドレスコードを青とし、イベント・ワークショップ・シンポジウム等を実施。 さまざまな背景のある人が集う「居場所」のようなイベントを実施することができました。

〇ヨコハマ市民まち普請事業への提案（居場所カフェの整備）
　子育てママ支援グループと共同で、ヨコハマ市民まち普請事業に子ども・子育て世代の集う場として居場所カフェの整備を提案。

## ◆研修・勉強会

・ロゴ作りワークショップ
・Mama’s cafe視察報告会
・子どもの発達を考える
・いじめを無くすために
　実施回数：6回
　参加者数：42名

5月
30日　カフェを作ろう！～Mama's cafe視察＆講演会報告会～

## ◆Web・facebook

・ホームページ
https://www.n-thirdplace.com/

・facebook
https://www.facebook.com/thirdplacetsurumi/

活動の予定や報告を掲載しています

## ◆会員募集

NPO法人サードプレイスと共に活動を協働していただく「事業会員（準会員）」、
活動に共感し金銭で応援いただく「賛助会員」を募集しています。

■事業会員

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 入会金 | 個人 | 5,000円 | 団体・企業 | 20,000円 |
| 年会費 | 個人 | 5,000円 | 団体・企業 | 20,000円 |

■賛助会員

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 入会金 | 個人 | 0円 | 団体 | 0円 |
| 年会費 | 個人 | 1口 3,000円（1口以上） | 団体・企業 | 1口 10,000円（1口以上） |

## ◆寄付報告

設立準備会から第1期の期末まで**144,338**円のご寄付をいただきました。
寄付金の用途として今期は、法人の立ち上げ準備、パンフレット作成など法人事務費の割合が多くなりました。第2期は、子どもたちの居場所を増やしていき、活動費の割合を増やしていきます。
引き続きのご支援をお願いいたします。

## ◆法人概要

▸名　　称　特定非営利活動法人サードプレイス

▸目　　的　この法人は、地域で暮らす子どもたちや大人に対して、子どものサードプレイス（居場所）づくりや「生き抜く力」を身につけるための体感・体験・学習に関する事業を行い、子どもたちの未来が明るくなり、豊かで充実した地域づくりに寄与することを目的とする。

▸事業内容　(1)子どもの発達における総合支援事業
(2)地域資源の調査・研究・開発事業
(3)その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

▸役　　員　代表理事　須田洋平
副代表理事　福徳未来
副代表理事　石田輝樹
監事　山路清貴

▸法人設立　平成29年2月28日

こどもたちにはサードプレイスを
おとなたちには、こどもたちと出会える場を。

230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央4-2-9
横山ビル4階 9号室
E-mail:thirdplace.tsurumi@gmail.com